

心の平和の大切さを伝えつづける「平和の大使」
 プレム・ラワットさんのプロフィール
 Mr. Prem Rawat

「心の平和による世界平和の実現」という
 ボトムアップ型の平和のありかたを、
 半世紀以上にわたって語りつづける、
 世界で唯一の人です。

1957年12月10日、インド北部ウッタラーカンド州 (Uttarakhand) の生まれ。60歳(2018年2月現在)。現在は、アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルス郊外に在住。

心の平和の大切さを説きつづけ、人々の尊敬を集めていた父親の影響により、幼い頃から、「すべての人の心の中に、生まれながらにある平和」について語りはじめました。

1971年6月、13歳の時に初めてインドを出発。ロンドンとロサンゼルス支持者に招かれ、講演会を開きました。それ以降、心の平和のメッセージを世界各地の人々にもたすため、過去56年間、休むことなく世界中で講演をつづけています。

ラワットさんはすでに、世界約250の都市で講演を行い、1,500万人以上の人々が聴講しました。講演の内容は75カ国語に翻訳されています。一回の聴衆の数は、数十人から数万人まで多様です。2011年に故郷インド・ビハール州の屋外特設会場で開かれた講演会には、50万人が集まりました。

ラワットさんは、2010年と2014年に「ノーベル平和賞」にノミネートされ、最終候補者に残ったことが判明しています(※Confidential:非公開情報)。

【公式サイト】

プレム・ラワット日本事務局(文屋): premrawat-japan.com/about/

※ページ下部に日本語字幕付き講演動画をご覧くださいことができます。

プレム・ラワット公式サイト: <https://www.wopg.org/prem-rawat/>

【著書】

- 1)『Pot with the Hole 穴のあいた桶』(文屋)
- 2)『Splitting the Arrow』(1)の英語版。文屋) 本書の翻訳出版はすでに約20言語に。
- 3)『絵本あなのあいたおけ』(文屋)
- 4)絵本『なりたいなあ』(文屋) 本書の英語版『The Stonecutter(石切職人)』
- 5)『たとえ、今日が散々な日々であったとしても……』(大和出版)
- 6)『呼吸 ～心の平和による世界平和の実現』(仮題。文屋。2018年7月出版予定)

【対談・インタビューなど】

- 1)「小さな幸せ 自分に愛を 心に平和を」(『れいろう』2017年1月号。モラロジー研究所)
 慶應義塾大学大学院教授 幸福学の第一人者・前野隆司氏と
- 2)「豊かな人生とは 心の庭に美しい花を咲かせるために」(『家庭画報』2017年2月号。世界文化社) 京都・大原在住のハーブ研究家・ベニシア・スタンリー・スミスさんと
- 3)クーリエ・ジャポン電子版(講談社) <https://courrier.jp/news/archives/71795/> ほかに数点。

ラワットさんはまた、数々の著名な会場やフォーラムに招かれて講演を行っています。

イギリスのグロスター公爵リチャード王子の公邸ケンジントン宮殿(2012年6月21日)、欧州議会(2010年6月29日、2011年11月28日)、国連(2005年6月24日)、イタリア(2007年4月26日、2012年12月3日)、イギリス(2014年6月17日)、アルゼンチン(2006年3月1日)、オーストラリア、ニュージー

ランド(2006年9月21日)の国会議事堂、世界各地の大学などです。

2015年9月、ミラノ万博の公式行事に講演者として招かれています。

ラワットさんは2011年11月、欧州(EU)議会が主催する「平和と幸福の実現」というテーマの国際会議に基調講演者として招かれました。この国際会議は、欧州議会副議長のジャンニ・ピッテラ氏が中心になり開催されたものです。平和への実際的な活動を呼びかけることを目的にした、欧州議会としては初の試みでした。そこで提案された「平和の誓約書」には、37の政府・団体代表が署名しました。この日、ラワットさんは欧州議会から「平和の大使」の任命を受けました。

2012年、ラワットさんはアジア・パシフィック・ブランド財団(Asia Pacific Brands Foundation)より特別功労賞を授与されました。これは世界中の人々の生活、社会に好影響を与えたとされる個人や主導的政治家に与えられる賞で、他の3人の受賞者の中にはネルソン・マンデラ氏とヒラリー・クリントン氏の名があります。

2012年9月、ブラジルのUNIPAZ(国際平和大学)の呼びかけにより、「第3回世界平和祭」が開催されました。ラワットさんは、同年4月にこの平和祭の「平和の火」点火式典に招待され講演しました。この平和祭には、ブラジルだけでなく、世界各国の連帯ネットワークを通じて100万人以上の人々が参加しました。

2012年8月、ラワットさんは、ノルウェーのオスロで開催されたNordic Peace Conference(北欧平和会議)にビデオメッセージを送り、次のように述べています。

「どん欲で他人のことなどまったく気にかけない人たちもいますが、彼らは少数派です。大多数の人たちは平和を望んでいます。ですから世界の平和は実現できます。実現を疑う声もありますが、これからは、平和を実現できると確信する人々が活躍する時です。」

「平和に対する人々の意識の向上」に貢献したことが認められ、ラワットさんは世界各地で賞や「都市の鍵」、「名誉市民」の称号を授与されています。さらに、UNIPAZ(国際平和大学)ならびに、他の3つの機関が選定する「平和の大使」に任命されています。また世界各国で、講演会やインタビューがテレビ放送されています。

【都市の鍵】

《アメリカ》 ニューヨーク市、ニューオーリンズ市、オークランド市、デトロイト市、マイアミ市

《日本》 京都市(1972年9月26日)

《イタリア》 Agrigento, Padova and Mazara del Vallo, Sicily

《英国》 Freedom of the City of London

【名誉市民】

2013年4月、ブラジル、サウパウロ市の名誉市民を受賞しました。他の受賞者は、ローマ教皇ベネディクト16世(2007年)、ビル・クリントン氏(2008年)とダライ・ラマ法王(2011年)のみです。

【「平和の大使」の任命】

1. 2006年 ブラジル・フロリアノーポリス市、UNIPAZ(国際平和大学)の学長ウェール・ピエール氏から、「平和の大使」の任命を受けました。

2. 2007年 イタリア・バジリカータ州、ソンドリオ市の長官から「平和の大使」に任命を受けました。

3. 2011年11月、欧州議会が立ち上げた『平和宣言』というフォーラムに講演者として招かれまし

た。その日、欧州議会の副議長ギアーニ・パテラ氏から「平和の大使」の任命を受けました。

4. 2013年 南米ペルーのアグエリアン大学から「平和の大使」の任命を受けました。

【テレビ放送】

1. ブラジル 2013年4月、レコードテレビ局(Rekord TV) ラワットさんのインタビューが放送されました。再放送も含め、すでに3,500万人が視聴しています。

2. 2016年、南米全大陸のディスカバリーチャンネル(Discovery Channel)にて、1時間の特集番組が放送されました。

3. インド アンジャンテレビ局(Anjan TV)は毎日3回、ラワットさんの講演会を放送しています。平均視聴者数は、毎日1,000万人です。

【プレム・ラワット財団の活動】

2001年、ラワットさんはプレム・ラワット財団(The Prem Rawat Foundation (TPRF))を創設し、人道的支援を行っています。

プレム・ラワット財団の活動は主に以下の2つです。

1. 「フード・フォア・ピープル」(Food for People) 「一時的な支援ではなく、地域のコミュニティーの一部になり、子どもたちが社会人として自立できるまで、サポートしつづけること」をコンセプトに、2006年に始まりました。支援活動は、世界34か国にわたっています。

財団の活動の目玉として、インド、ネパール、ガーナの3カ所に、貧困で食べられない子どもたちに一日一食(毎月3万食)を提供するセンターが作られました。地元の方々が雇われ、センターの運営と管理を自ら行うシステムになっています。食事ときれいな水、そして目の治療を提供するほか、災害時の援助も行っています。その成果として、子どもたちが学校に通うようになり、犯罪と病気が減ってきました。今では、その地域で育った子どもの中から、大学を卒業する人が出るまでになりました。

2. 「平和教育プログラム」(Peace Education Program : PEP) 心の平穏についてラワットさんが話す動画を見たあと、参加者同士が感想や意見を交わす、全10巻の映像プログラムです。現在、16カ国語に訳され、38カ国で活用されています。PEPは世界の110カ所以上の刑務所で採用され、大学をはじめとする教育機関や病院・ホスピス、老人ホームなどでも使われています。PEPを導入している刑務所では、収容者の心の安定や、出所後の再犯率の減少傾向が、顕著に認められています。

ドミンゲズ刑務所(アメリカ・テキサス州・サンアントニオ)の刑務官ロレンゾー・カーターさん。

「2007年から4年間にわたって採用しています。PEPによって多くの受刑者たちが、再犯することなく、社会人として活躍しています。刑務所の中では、PEPに参加している受刑者たちの行動に変化が表れます。積極的に協力してくれるようになり、暴力や問題を起こすことはほとんどなくなるなど、大きな改善が見られます。」

【プレム・ラワットさんの素顔】

ラワットさんは、とても優秀で経験豊富なパイロットでもあります。飛行時間は15,000時間を超えています。

米ロサンゼルス郊外に居を構え、既婚で、4人の子供たちは皆成人して、彼の活動を支えています。家庭では“孫煩悩”なおじいちゃんです。

休日はドライブや写真撮影を楽しんでいます。